

アガペ No.40

総主事 堤 弘雄

取り戻そう失われた“幸せの実感”

1844年、産業革命時代にイギリスの首都ロンドンでは青少年が悲惨な状況下にありました。仕事を求めて田舎から出てきた若い人々は、長時間労働を強いられ、また、友人や知り合いも少なく孤独で希望の見えない生活を送っていました。多くの青年たちはジンという酒を飲んで寂しさを紛らせていました。その頃、クリスチャンであったジョージウィリアムズを中心とする12名の仲間が劣悪な状況下にある青年たちのために祈り、祈りを行動に移し、学びや交流の機会を若者たちに提供したのがYMCA運動のはじまりでした。

現代社会に生きる私たちの姿が、産業革命当時のロンドンの青年たちの状況となぜか重なって見えます。なぜなら、幸せの実感をつかむことのできない日本人の姿があるからです。日本人は物質的なものに価値を見出し、個人の幸福や関心を追求する生き方を求め続けてきたように思います。その結果、他者を大切に、他者から大切にされるという、人間的な本来の生き方を見失ったのかもしれませんが、失われた“幸せの実感”の原因の根底には人間は互いに相手を必要としていて、分かち合いと協力と共感によって存在し合っているということを忘れてしまったことがあるように思います。

“幸せの実感”とは、家族において、または社会において、自分が誰かの役に立っている、誰かを幸福にしている、という実感を親しい関係の仲間と共有し共感しながら生きることにあるのかもしれません。

YMCAは昔も今も人々が集い交わる場であると同時に、人間を含む自然界にあるすべての“いのち”が尊重される世の中を多くの人々と共に作りだそうとする人間の群れです。そのような意味で、YMCAは人間的な本来の生き方を再発見する場でもあるのです。



て泳いだ時と水着で泳ぐ場合の感覚の違いを体感し、ベクトルボトルなどを浮き具代わりに使う方法などを学習しました。

みなみYMCA健康教育部の辻健太郎さんは、「水は、私たちに命を与え、水遊びは子どもたちにとって欠かすことのできない楽しい遊びです。しかし、ルールを守らないと、大切な命を失ってしまう危険なものでもあります。このキャンペーンで、水の大切さと危険性を認識してもらい、今年の夏も楽しく過ごしてほしいと思っています」と話されました。

「楽しく安全な夏を過ごすために」「水上安全キャンペーン」

YMCAでは、夏の水難事故から子どもたちの大切な命を守るために、「水上安全キャンペーン」を行っています。

みなみYMCAでは、6月8日(月)～13日(土)に着衣泳体験を実施。リーダーによる「川に落ちた子ども」の寸劇があった後、子どもたちは「子どもだけで川に行つてはいけない」「泳ぎが上手な人でも泳いで助けようとせず、大きな声で大人の助けを呼ぶ」といったポイントを確認。続いて、実際に服を着



参加した 小学校6年生の野村尚矢さんは、「ちょっと濡れただけで、すごく服が重く感じました。」

楽しく安全な夏を過ごすために
「水上安全キャンペーン」



家族とのふれあいを育む
ファミリーハイキング



5月24日(日)、家族で野外活動を通して屋外で遊ぶこと、身体を動かすことの楽しさを感じてもらおうと「ファミリーハイキング」が行われました。中央YMCAとみなみYMCAでは「親子でDAYキャンプ」と題し、会場である三角オレンジファームに36家族120名が集合。晴天の下、準備体操で身体を十分にほぐした後、レクリエーションで汗を流し、クラフトにも挑戦しました(写真上)。



小国甲の瀬キャンプ場を会場に開催。16家族53名が参加しました。テーマは「むさしの森へようこそ!」動物やキャラクターに扮したリーダーたちが登場し、親子で身体と頭を使ったゲームを楽しみました(写真下)。メインの宝探しでは、問題を解いたり、宝を探したり。昼食後は、釣りや川遊びも楽しみました。家族とのふれあいを深めることができた一日となりました。



仕事帰りにボウリングで
チャリティに貢献



児童養護施設の子どもたちをデイキャンプに招待しようとして開催された、YMCAフィランソロピー協会の「チャリティボウリング大会」。14企業から124名が参加し、ストライクを出したら100円を募金するチャリティストライク募金では3万6800円の募金が集まりました。デイキャンプの会場となる阿蘇YMCA運営委員の竹原憲朗さんは、「皆さんには、子どもたちとの交流を楽しんでほしいです」と笑顔でした。

スポーツを通し父と子のふれあい



開催日/2009年6月21日(日)
開催場所/みなみYMCA・熊本県身体障がい福祉センター



父の日を記念し、特別プログラムが行われました。みなみYMCAで行われた親子体操では、マットや鉄棒にお父さんも挑戦。あまり見ることのない姿に子どもたちから感嘆の声が上がりました。また、ながみねファミリーYMCAでは、親子サッカー大会を実施。お母さんたちのあたたかい声援を受けながら汗びっしょりになってサッカーを楽しみました。普段とは違う父親の姿に、子どもたちは良い刺激を受けたようです。